

# 長野東高校演劇部 2011年ダイアリー

## \* 2011年4月 1年生2名入部 2年生2名、3年生4名の計7名でスタート

1年生が2名入部しました。2年生はいろいろな事情で出入りがあり2名、3年はずーっと継続の4名のあわせて7名でスタート。

## \* 2011年6月 1年生の男子が2人新入部、女子も1名新入部

な、なんと久しぶりに男子部員が2名も入りました。やる気満々?の2人、今後の活躍が楽しみです。かつては男子が大勢いたこともあったようですが……、男子部員は10年ぶりくらいでしょうか。1年の女の子も1名入部し、合計11名となりました。

## \* 2011年6月 東京演劇集団風の皆さんによるワークショップに大感激

6/15(火)、芸術鑑賞行事で東京演劇集団風による『肝っ玉おっ母と子供たち』を鑑賞しました。前日の夕方風の皆さんにお願いして演劇部員を対象にしたバックステージツアーとワークショップを開いていただきました。本物みたいのできている大道具や小道具を触らせてもらったり、照明効果を実演してもらったり、さまざまな勉強をさせていただきました。



## \* 2011年7月 東雲祭:『浅賀家家族会議結構佳境de協議中』

(作/中島つづみ)上演

インターネットで探した台本です。女の子2名が男役をやりました(男子が入部する前にキャストが決まり練習に入っていました)。

浅賀家の4人の兄妹。末の妹はもうすぐ高校卒業、卒業旅行を海外に行きたいと言い出して、家族会議が開かれる。やがて少しずつ4人の素性が明らかになって……。笑いあり、ちょっぴり涙ありの脚本ですが、シリアスに創るにもコメディに創るにも中途半端になってしまうところが難点でした。そのうえ暗転が多く、動きも少なく、なかなかやっかかったです。

## \* 2011年8月 北信大会:(千曲市あんずホール)

『浅賀家家族会議結構佳境de協議中』(作/中島つづみ)上演 銀賞受賞



今年からホールの調光卓がコンピュータ入力方式に。舞台監督、音響、照明の中心はいずれも遅れてやってきた1年生。バタバタのリハーサルを何とか乗り切って、本番を成功させました。セリフのキャッチボールはよくできていたと講師の先生から褒めていただきましたが、県大会の壁は厚いものでした。やっぱり台本選びにもっと時間を書けなくちゃダメだということを痛感しました。大道具の階段は評判良かったです。



\* **2012年2月** 長野市民演劇祭(長野市女性会館しなのき)

『**斉藤さんちと佐藤さんちの恋愛記念日**』(作/楽静) **上演 熱演賞受賞**

弟がもしも彼女を部屋に呼んだら? 純情可憐な高校生カップルと、心配してお節介をやく二人の姉たち。姉弟ゆえの混乱と、姉妹ゆえの心配がからみあって…。そんな家族だから起こるドタバタコメディです。久しぶりに男子が役者としてデビューしました。

